



国立国会図書館 男伊達鹿子勘兵衛 6巻 208-679



ガラス使用

男伊達鹿子勘兵衛序

近松不移子平安堂子幾箇の雜劇を著作す

喜乃大和共教あるを妓雑替いり終り

せり志のるんるの筑後播磨の毒向して本偶

子魂有がぬく喜怒哀樂は人情を執りては

乃拙より作るも画工の章句彫工の丹精を

世間並の草雙紙ともんるる幸甚なりん

亥の酉春

鳳凰軒述

藍庭晋来書

6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



關帝堂

關帝の像をかみ
足利の若丸と
奪ん
とす

赤川典膳

義隆
の
つら

大神宮

河内の國竜田山の百姓玉作が子
大内多々良推之助の末葉
大内寶壽丸





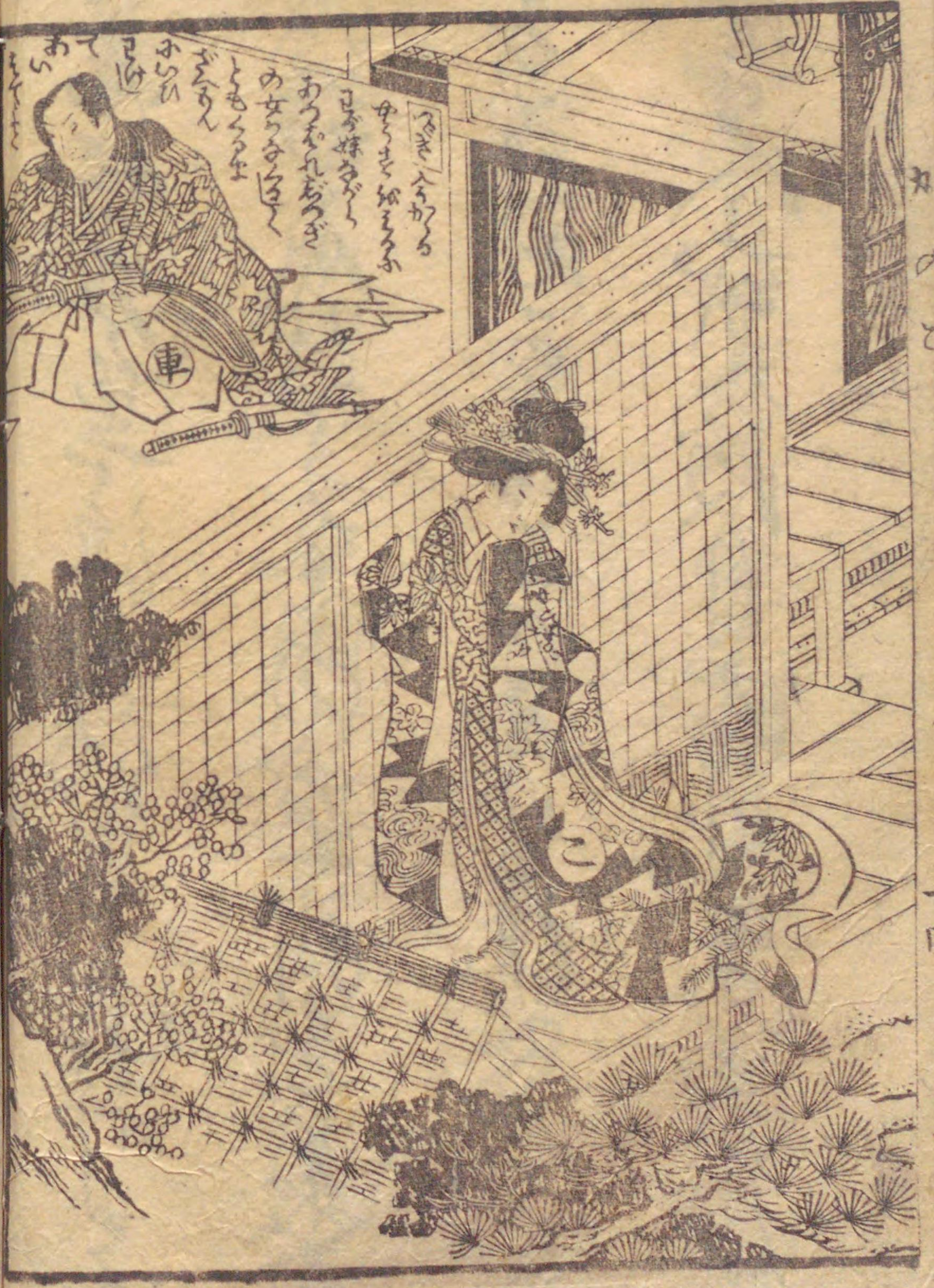


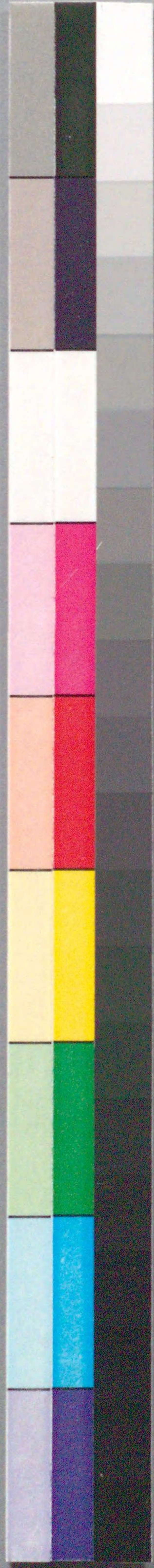


Handwritten Japanese text in the right margin, including a circled character and various characters.

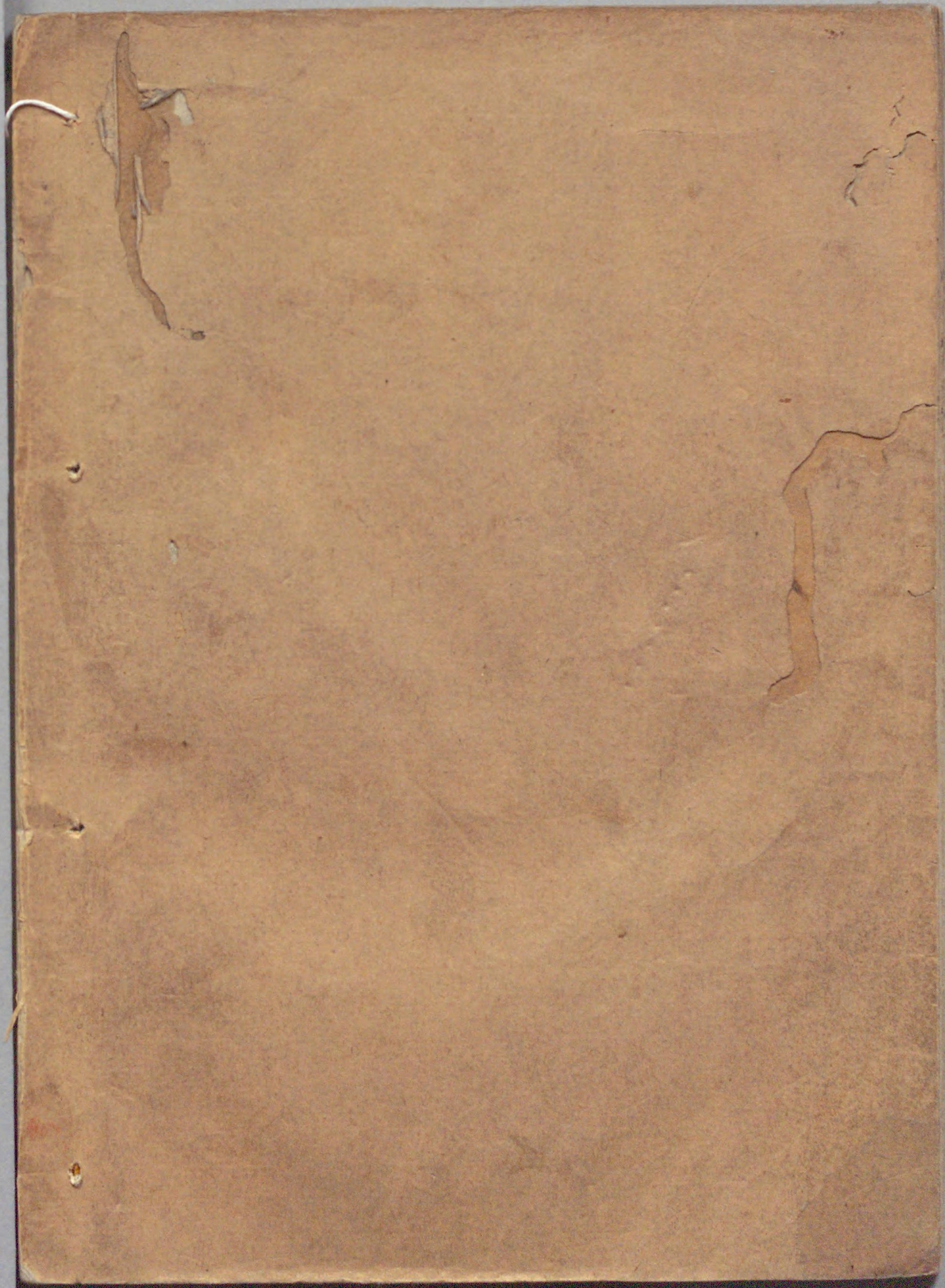








国立国会図書館 男伊達鹿子勘兵衛 6巻 208-679



ガラス使用

